



上/降り注ぐように浴びせられる清め水 右/熱気あふれる渡御を披露した担ぎ手たち



上/山田町からの有志も神輿を担ぎ復興を祈願した 左/女性だけで担ぐ姫神輿も披露し沿道を沸かせた



東日本大震災からの復興と平泉の世界遺産登録支援に対する横断幕を掲げて感謝した



ビルの谷間を勇壮に渡御

「深川の皆さんありがとう」の横断幕を掲げた当町の神輿を見掛けると、勢よく清めの水が浴びせられ、温かい拍手が送られました。

今回の神輿には、江東区民祭りで交流のある山田町の有志10人も特別参加。大漁旗をなびかせながら平泉の神輿を担ぎ、1日も早い復興を祈願しました。

約8キロに渡るコースを巡り、到着地点となった八幡宮前では、天皇、皇后両陛下が当町の神輿をはじめ、担ぎ手たちの勇壮で豪快な神輿渡御をご覧になりました。

深川のまちを練り歩いた神輿は午後4時、仮宮が設置されている東京都現代美術館前に到着。担ぎ手たちの顔には笑顔があふれ、充実感と達成感で満たされていました。

## 感謝の気持ちを込め 元気に神輿渡御 東京深川祭りに参加



上 平泉の神輿をご覧になる天皇皇后両陛下/左 両陛下を前に神輿を掲げる担ぎ手たち



大量に浴びせられる清め水に、神輿を差し上げて応える担ぎ手たち

東京江東区にある富岡八幡宮の「深川八幡祭り」の神輿連合渡御が8月12日に行われ、当町の平泉水かけ神輿が特別参加しました。

同祭りは天下祭と称される赤坂日枝神社の山王祭、神田明神の神田祭と並び江戸三大祭りの一つで350年以上の歴史を誇る祭りです。

今回の参加は、平成20年に続き2度目。町民や関係者ら約200人が大型バス5台などで駆け付け、東日本大震災への復興支援と「平泉の文化遺産」の世界遺産登録への支援に対しての感謝とともに、東北、岩手、平泉の元気をアピールしました。

富岡八幡宮前の永代通りに集結した54基の神輿。午前7時30分、出発を告げる煙火が東京の空に響き渡る中、1基目の神輿がスタート。当町の神輿は先頭が出発してから約1時間後の38番目、拍子木を合図に威勢よくスタートしました。神輿は途中、女性だけで担がれる「姫神輿」も披露。沿道は多くの人でにぎわい、大型トラックややぐらなどには大量の清め水が準備されていました。